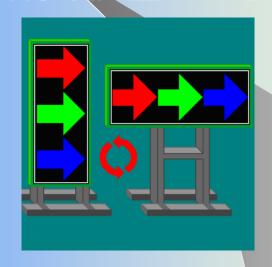
ソーラー式LED標示機

V型 対応 編集ソフト 説明書

対応機種:IM335 / IM635 各シリーズ他

簡単編集/書込方法編



株式会社 インフォメックス松本

このソフトは、LED標示機(V型)の表示メッセージの編集をWindowsパソコン/Windwosタブレットで行う為のものです。

更新用データファイルをUSBメモリに出力し、

LED標示機本体をアップデートすることで

ユーザーが作成したメッセージを表示させることが可能です。

内容

- 1. 準備
- ・2. ソフトのインストール
- 3. 編集ソフトの起動
- 4. 画面説明
- ・5. メッセージ作成例
- ・6. LED標示機本体更新ファイルの出力
- ・7. LED標示機本体への書き込み
- ・8. LED標示機本体での表示

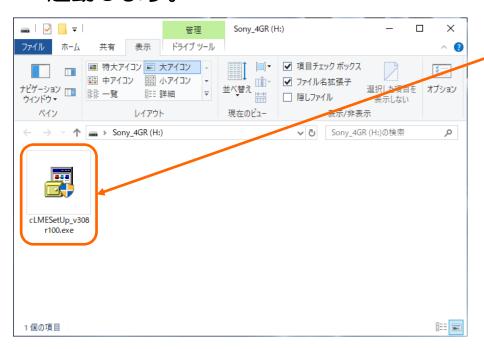
1. 準備 (必要なもの)

- (V型) 対応編集ソフトウェア
- Windowsパソコン/Windowsタブレット (対応OS:Windows10·8·7·2000·XP)
- LED標示機本体(V型)
- USBメモリ

- ※ ソフトウェアは無償支給となります。必要な際は、弊社にお申し付け下さい。
- ※ アプリケーションのデザイン、仕様、外観は予告なく変更する場合があります。

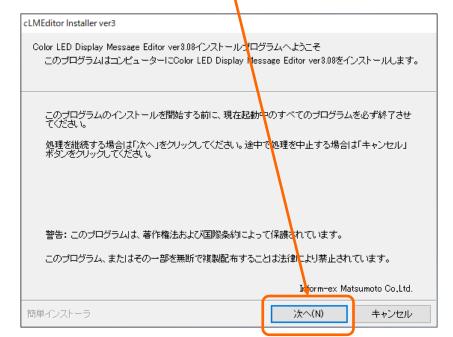
2. ソフトのインストール 【その1】

- ●インストール用のCD-ROMをパソコンにセットします。
- ●CD-ROMの内容を開くと、「cLMESetUp_v3**r**.exe」というファイルがあります。(*はバージョンにより異なります) そのアイコンをクリック(またはダブルクリック)してインストールプログラムを起動します。

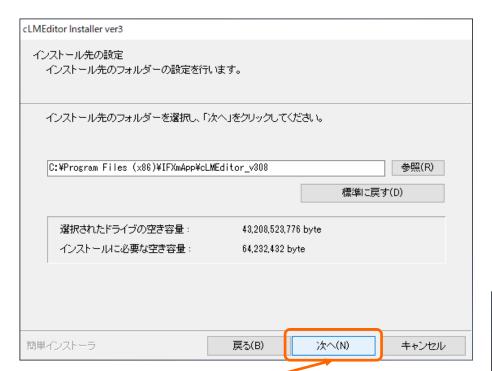


①起動します。

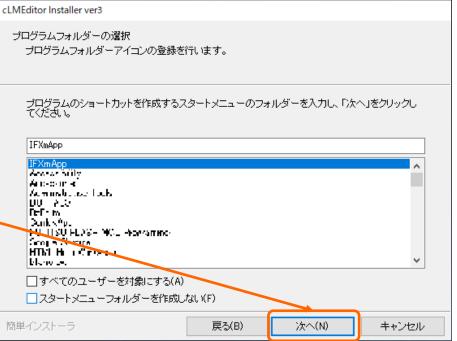
②次へ(N)を押します。



2. ソフトのインストール 【その2】



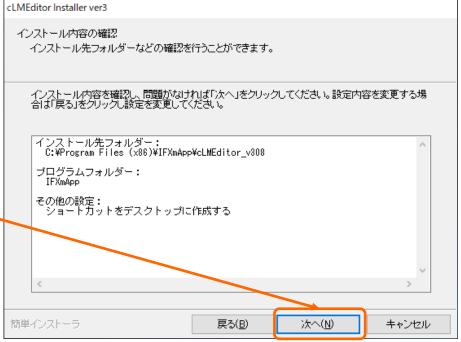
- ③ 次へ(N)を押します。
- ④ 次へ(N)を押します。



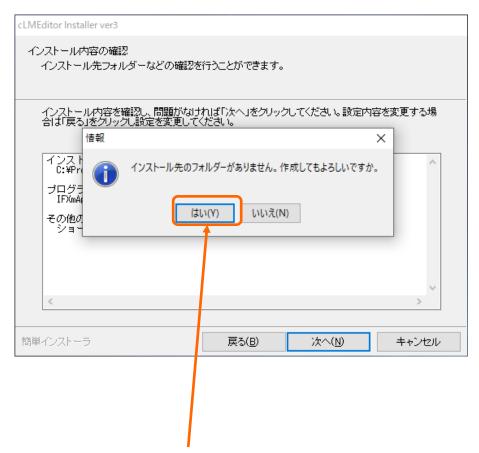
2. ソフトのインストール 【その3】



- ⑤ 次へ(N)を押します。
- ⑥ 次へ(N)を押します。~



2. ソフトのインストール 【その4】



⑦ はい(Y)を押します。

2. ソフトのインストール 【その5】





⑧ 完了(F)をクリックするとインストールが完了し、 デスクトップにスマート編集ソフトのアイコンが現れます。

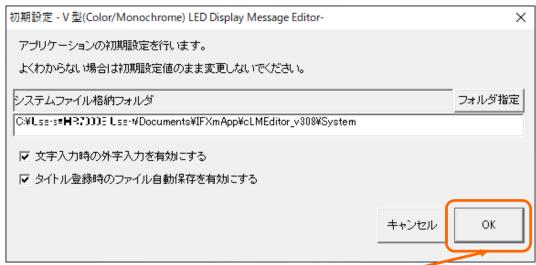
今すぐ実行する(R)がチェックしてある場合は、編集ソフトが起動します。

3. 編集ソフトの起動 【その1】

● 『cLMEditor ver3』をクリック(またはダブルクリック)し、 編集ソフトを起動します。

 アイコンをクリック (またはダブルクリック)します。





② OKを押します。

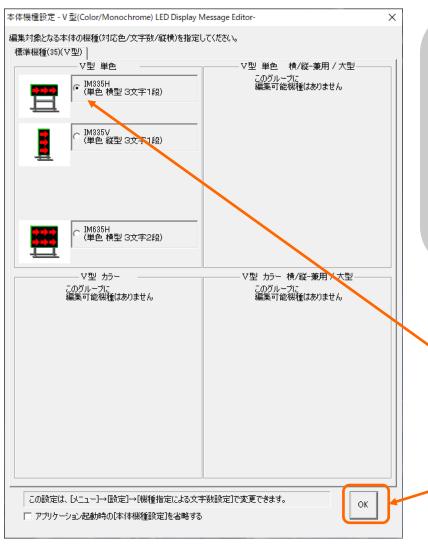
初回起動時のみの操作です。次回以降の起動時には、この操作は不要です。



パソコン画面

3. 編集ソフトの起動 【その2】

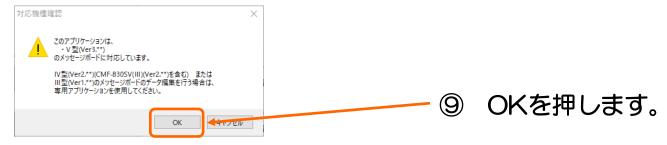
⑤ 編集対象機種の指定画面が起動します。



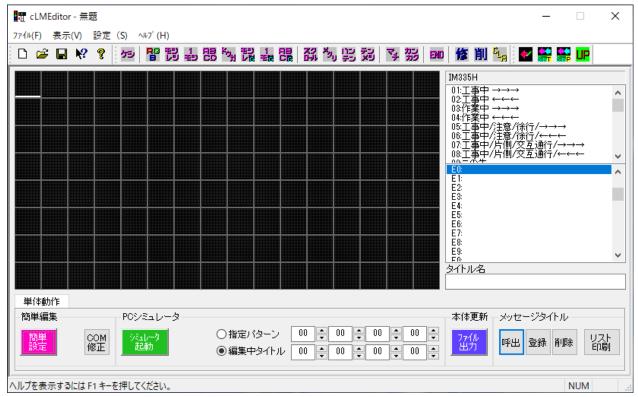
- ⑥ 編集する機種を選び、チェックを入れて下さい。(図は IM335H の場合)
- ⑦ OKを押します。

3. 編集ソフトの起動 【その3】

③ 対応機種確認のメッセージが表示されます。



⑩ OKを押すと、編集画面が現れます。



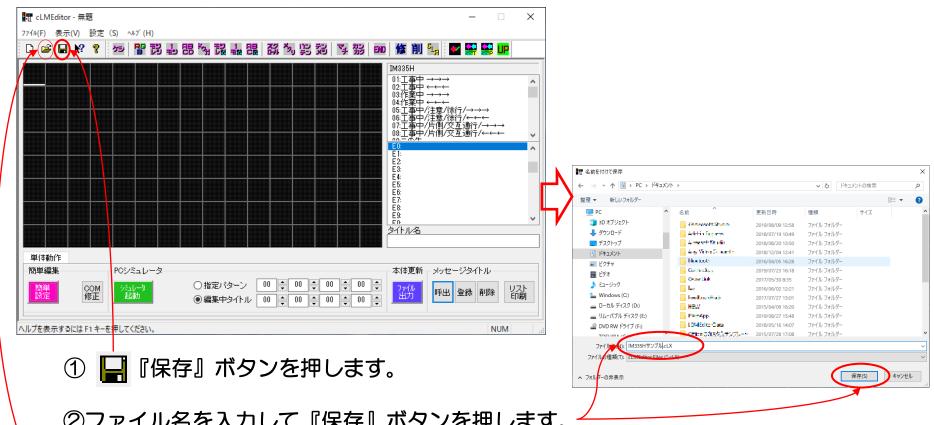
4. 画面説明

• 画面構成は以下のように分類されます。



5-0. メッセージ作成例 【準備】

●実際に文字を作成しよう! メッセージデータファイルの作成



②ファイル名を入力して『保存』ボタンを押します。

作成したメッセージは、このファイルに自動的に保存されます。

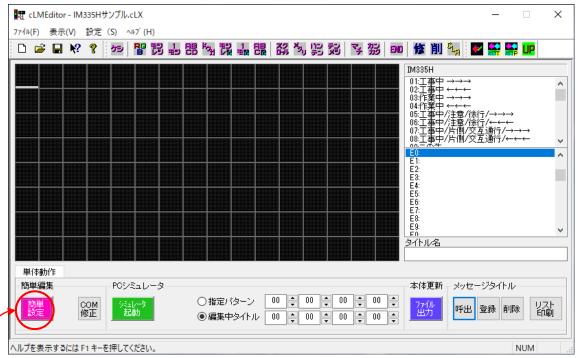
- ※過去に作成したファイルに追加で作成する場合は、 『読込』ボタンでデータを呼び出して下さい。
- ●スクロールして表示させる場合は [5-1]へ進んでください。
- ●固定点滅表示させる場合は [5-2]へ進んでください。
- ●外字を作成して表示させる場合は「5-3.]へ進んでください。

5-1. メッセージ作成例1 〈スクロール〉【その1】

●実際に文字を作成しよう!

例:『注意して走行してください』(スクロール)を繰り返して表示させます。

(1)表示文章簡単設定ダイアログの起動



①『簡単設定』ボタンを押します。

表示文章簡単設定ダイアログが起動します。



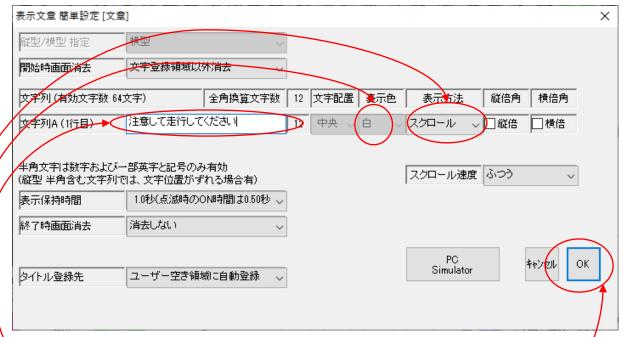


5-1. メッセージ作成例1 〈スクロール〉【その2】

●実際に文字を作成しよう!

例:『注意して走行してください』(スクロール)を繰り返して表示させます。

(2)メッセージの作成



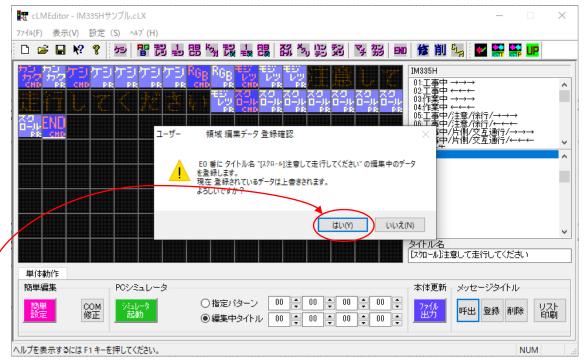
- ①『注意して走行してください』を入力します。
- ②『文字色』を指定できます。(カラー機種の場合に有効)
- ③『スクロール』を選択します。 (文字数により自動設定)
- ※ その他の設定は必要に応じて行ってください。
- ④『OK』ボタンを押します。

5-1. メッセージ作成例1 〈スクロール〉【その3】

●実際に文字を作成しよう!

例:『注意して走行してください』(スクロール)を繰り返して表示させます。

(3)メッセージの登録



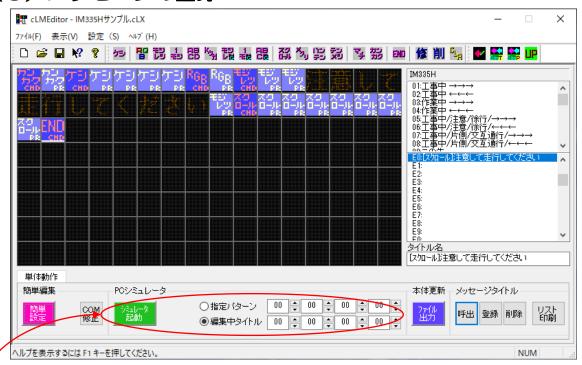
① 作成したメッセージを空き領域に登録します。『はい(Y)』を押してください。

5-1. メッセージ作成例1 〈スクロール〉【その4】

●実際に文字を作成しよう!

例:『注意して走行してください』(スクロール)を繰り返して表示させます。

(3) メッセージの登録



- ② EO番に「[スクロール|注意して走行してください」が登録されました。
 - ※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります (UO,EO,130等)
- ③『シュミレータ起動』で、作成したメッセージがどのように表示されるか確認できます。



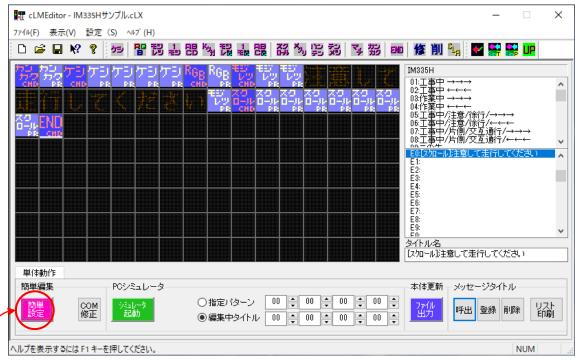
※他の文章も追加する場合は、5-1.メッセージ作成例1の【その1】~【その4】を繰り返してください。

5-2. メッセージ作成例2 〈固定/点滅〉【その1】

●実際に文字を作成しよう!

例:『工事中』(固定点滅)を繰り返して表示させます。

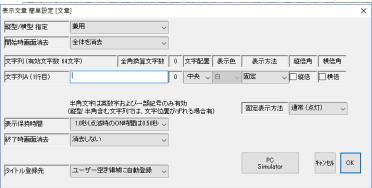
(1)表示文章簡単設定ダイアログの起動



①『簡単設定』ボタンを押します。

表示文章簡単設定ダイアログが起動します。



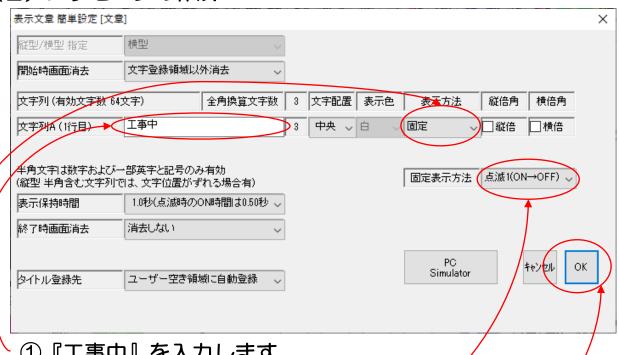


5-2. メッセージ作成例2 〈固定/点滅〉【その2】

●実際に文字を作成しよう!

例:『工事中』(固定点滅)を繰り返して表示させます。

(2) メッセージの作成



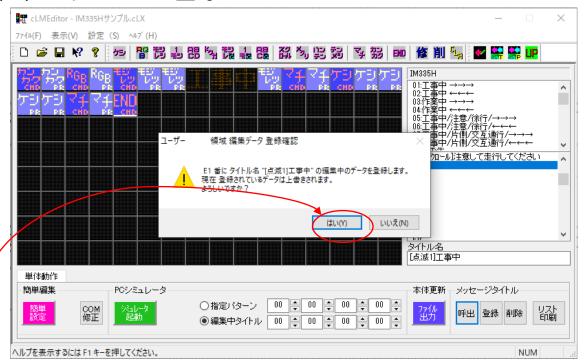
- ①『工事中』を入力します。
- 『固定』を指定します。(文字数により自動設定
- ③『点滅1』を選択します。
- ※ その他の設定は必要に応じて行ってください。 カラー機種では色指定も可能です。
- ④『OK』ボタンを押します。

5-2. メッセージ作成例2 〈固定/点滅〉【その3】

●実際に文字を作成しよう!

例:『工事中』(固定点滅)を繰り返して表示させます。

(3) メッセージの登録



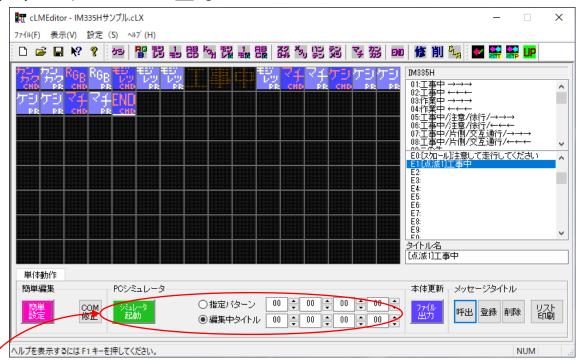
① 作成したメッセージを空き領域に登録します。『はい(Y)』を押してください。

5-2. メッセージ作成例2 <固定/点滅>【その4】

●実際に文字を作成しよう!

例:『工事中』(固定点滅)を繰り返して表示させます。

(3) メッセージの登録



- ② C1番に「[点滅1]工事中」が登録されました。
 - ※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります(UO,CO,130等)
- ③『シュミレータ起動』で、作成したメッセージがどのように表示されるか確認できます。



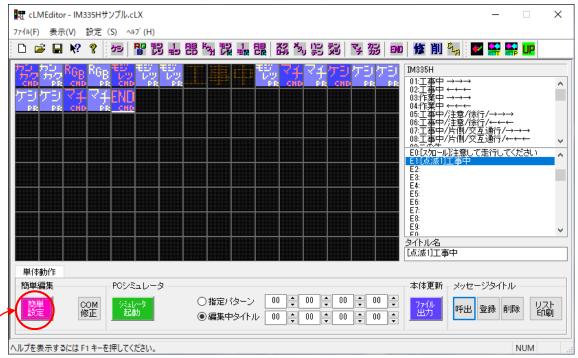
※他の文章も追加する場合は、5-2.メッセージ作成例2の【その1】~【その4】を繰り返してください。

5-3. メッセージ作成例3 〈固定〉〈ユーザー外字〉【その1】

●実際に文字を作成しよう!

例: 『iFX 』(社名ロゴ)(固定)を表示させます。

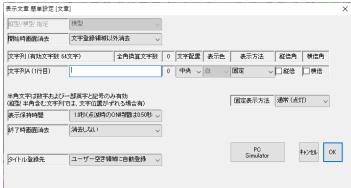
(1)表示文章簡単設定ダイアログの起動



①『簡単設定』ボタンを押します。

表示文章簡単設定ダイアログが起動します。



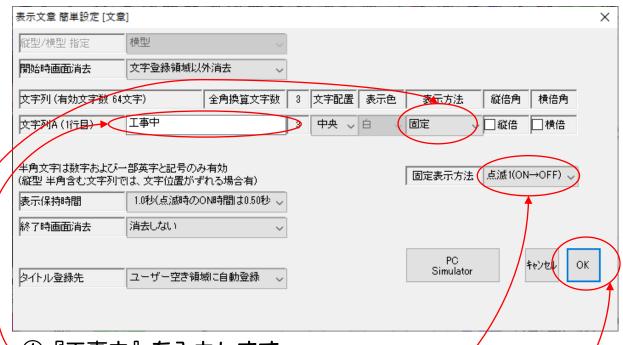


5-3. メッセージ作成例3 <固定><ユーザー外字>【その2】

●実際に文字を作成しよう!

例: 『iFX 』(社名ロゴ)(固定)を表示させます。

(2) 仮メッセージの作成



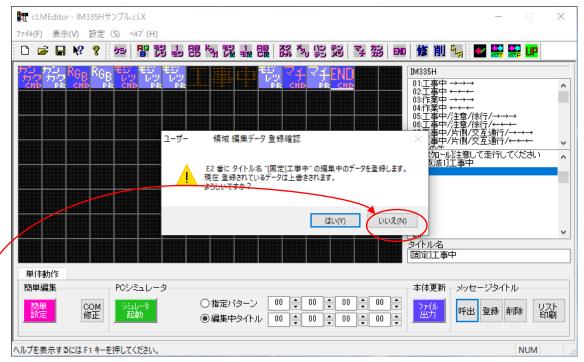
- ①『工事中』を入力します。(適当な文字でかまいません)
- ②『固定』を指定します。(文字数により自動設定)
- ③『点滅1』を選択します。
- ※ その他の設定は必要に応じて行ってください。 カラー機種では色指定も可能です。
- ④『OK』ボタンを押します。

5-3. メッセージ作成例3 〈固定〉〈ユーザー外字〉【その3】

●実際に文字を作成しよう!

例: 『iFX 』(社名ロゴ)(固定)を表示させます。

(2) 仮メッセージの作成



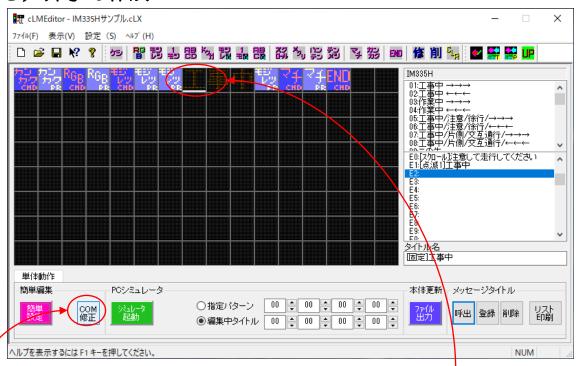
⑤ この時点では、作成したメッセージを<u>登録しません</u>。『いいえ(N)』を押してください。

5-3. メッセージ作成例3 〈固定〉〈ユーザー外字〉【その4】

●実際に文字を作成しよう!

例: 『iFX 』(社名ロゴ)(固定)を表示させます。

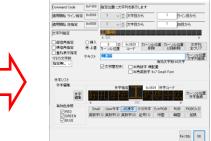
(3) 外字の作成



① マウスの左ボタンで「工」の字の場所をクリックし、カーソル(白線)を移動させます。

②『COM修正』ボタンを押します。

パラメータ設定 文字登録 ダイアログが 起動します。



5-3. メッセージ作成例3 〈固定〉〈ユーザー外字〉【その5】

●実際に文字を作成しよう!

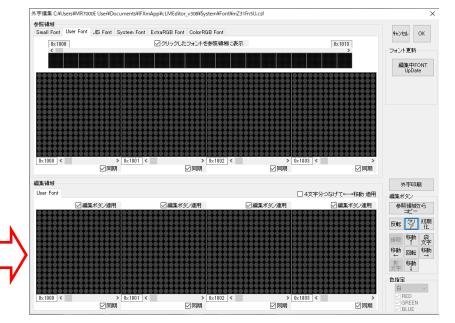
例: 『iFX 』(社名ロゴ)(固定)を表示させます。

(3) 外字の作成



- ③『ユーザー外字』ボタンを押します。
- ④『外字編集』ボタンを押します。

外字編集ダイアログが起動します。

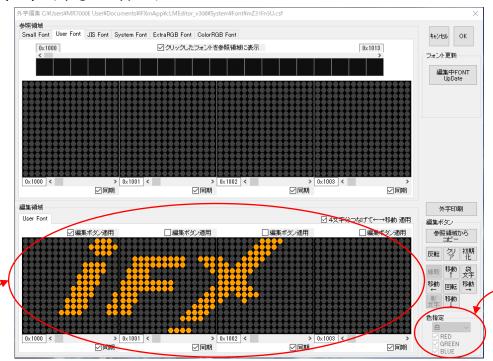


5-3. メッセージ作成例3 <固定><ユーザー外字>【その6】

●実際に文字を作成しよう!

例: 『iFX 』(社名ロゴ)(固定)を表示させます。

(3) 外字の作成



カラー機種では1ドット毎の色指定が可能です。

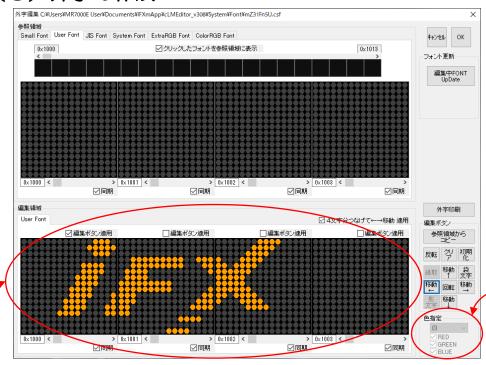
⑤ 編集領域のドットをマウスのクリックにより ON/OFF させて、外字を作成します。

5-3. メッセージ作成例3 〈固定〉〈ユーザー外字〉【その7】

●実際に文字を作成しよう!

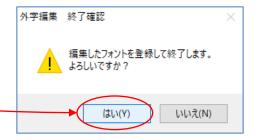
例: 『iFX 』(社名ロゴ)(固定)を表示させます。

(3) 外字の作成



カラー機種では1ドット毎の色指定が可能です。

- ⑥ 外字の作成後、『OK』ボタンを押してフォント登録します。
- ⑦ 外字編集終了確認メッセージが出ます。 『はい(Y)』を押してください。



5-3. メッセージ作成例3 〈固定〉〈ユーザー外字〉【その8】

●実際に文字を作成しよう!

例: 『iFX 』(社名ロゴ)(固定)を表示させます。

(4) 作成した外字の登録



① 作成した外字を登録したい位置にカーソルがあることを確認して、『カーソル位置 外字登録』ボタンを押し、文字を登録します。

(大きく表示されている外字が登録されます)

登録は1文字分ずつ行われます。上記の例では3文字分の登録が必要です。

登録位置と登録外字に注意して繰り返してください。

5-3. メッセージ作成例3 〈固定〉〈ユーザー外字〉【その9】

●実際に文字を作成しよう!

例: 『iFX 』(社名ロゴ)(固定)を表示させます。

(4) 作成した外字の登録



登録された文字が表示されます。

ここに表示されている文章(文字)が表示されます。

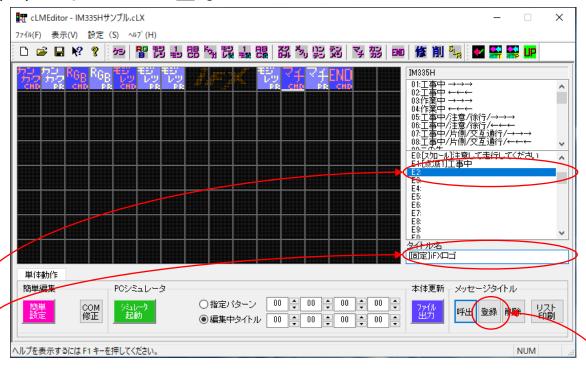
- ② 作成した外字が登録されていることを確認します。
- ③『OK』ボタンを押します。

5-3. メッセージ作成例3 〈固定〉〈ユーザー外字〉【その10】

●実際に文字を作成しよう!

例: 『iFX 』(社名ロゴ)(固定)を表示させます。

(5) メッセージの登録



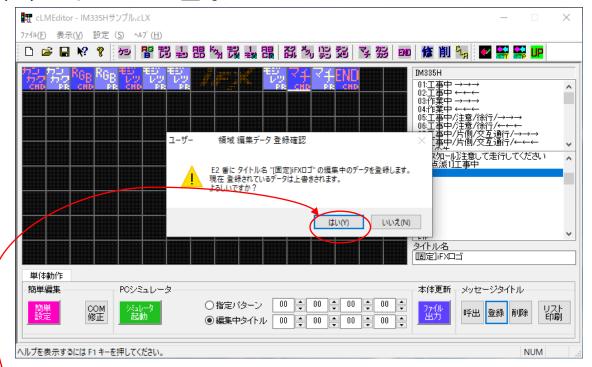
- ① 登録するデータのタイトル名を入力します。
- ② 空いている番号(ここではE2)を選択します。
- ③『登録』ボタンをおしてデータを登録します。

5-3. メッセージ作成例3 〈固定〉〈ユーザー外字〉【その11】

●実際に文字を作成しよう!

例: 『iFX 』(社名ロゴ)(固定)を表示させます。

(5) メッセージの登録



④ 作成したメッセージを指定領域に登録します。『はい(Y)』を押してください。

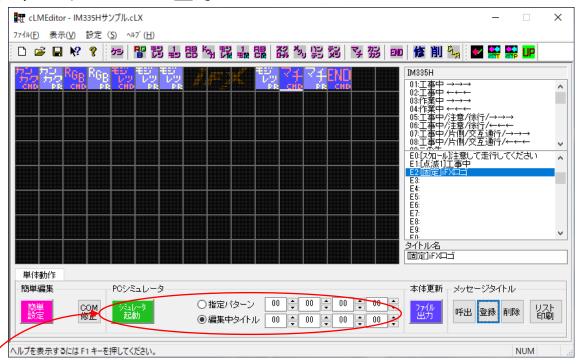
※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります (UO,EO,130等)

5-3. メッセージ作成例3 〈固定〉〈ユーザー外字〉【その12】

●実際に文字を作成しよう!

例: 『iFX 』(社名ロゴ)(固定)を表示させます。

(5) メッセージの登録



- ② E2番に「[固定]iFXロゴ」が登録されました。
 - ※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります (UO,EO,130等)
- ③『シュミレータ起動』で、作成したメッセージがどのように表示されるか確認できます。



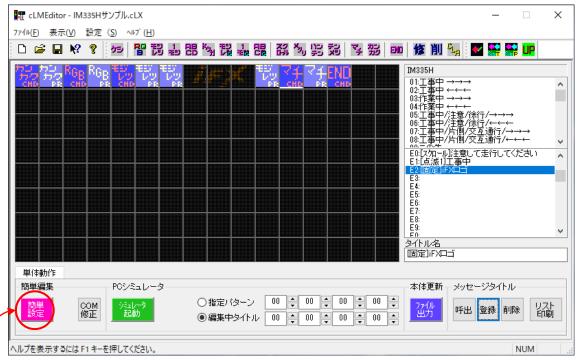
※他の文章も追加する場合は、5-3.メッセージ作成例3の【その1】~【その12】を繰り返してください。

5-4. メッセージ作成例4 〈スクロール〉〈登録済外字〉【その1】

●実際に文字を作成しよう!

例:『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(1)表示文章簡単設定ダイアログの起動



①『簡単設定』ボタンを押します。

表示文章簡単設定ダイアログが起動します。



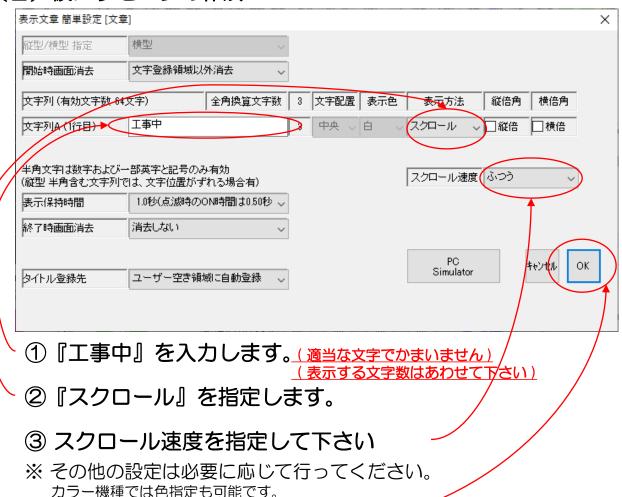


5-4. メッセージ作成例4 〈スクロール〉〈登録済外字〉【その2】

●実際に文字を作成しよう!

例:『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(2) 仮メッセージの作成



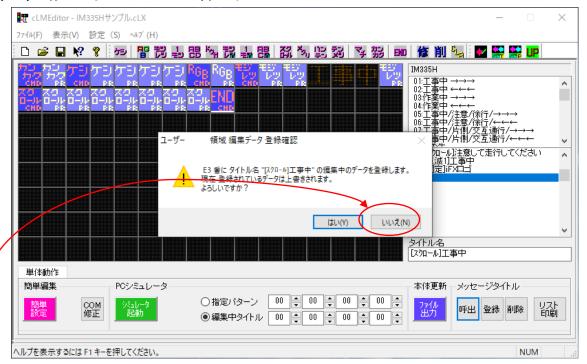
④『OK』ボタンを押します。

5-4. メッセージ作成例4 〈スクロール〉〈登録済外字〉【その3】

●実際に文字を作成しよう!

例:『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(2) 仮メッセージの作成



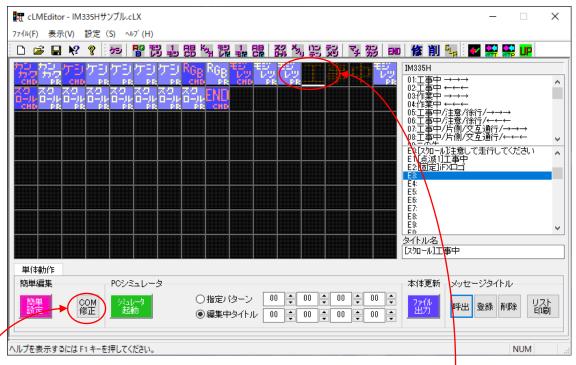
⑤ この時点では、作成したメッセージを<u>登録しません</u>。『いいえ(N)』を押してください。

5-4. メッセージ作成例4 〈スクロール〉〈登録済外字〉【その4】

●実際に文字を作成しよう!

例:『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

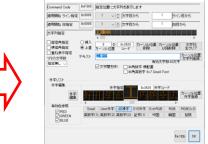
(3) 外字の呼び出し



① マウスの左ボタンで「工」の字の場所をクリックし、カーソル(白線)を移動させます。

②『COM修正』ボタンを押します。

パラメータ設定 文字登録 ダイアログが 起動します。



5-4. メッセージ作成例4 〈スクロール〉〈登録済外字〉【その5】

●実際に文字を作成しよう!

例:『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(3) 外字の呼び出し



③『システム外字』ボタンを押します。

5-4. メッセージ作成例4 〈スクロール〉〈登録済外字〉【その6】

●実際に文字を作成しよう!

例:『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(4) 外字の登録



① 外字を登録したい位置にカーソルがあることを確認して、

『カーソル位置 外字登録』ボタンを押し、文字を登録します。

(大きく表示されている外字が登録されます)

登録は1文字分ずつ行われます。上記の例では3文字分の登録が必要です。

登録位置と登録外字に注意して繰り返してください。

5-4. メッセージ作成例4 〈スクロール〉〈登録済外字〉【その7】

●実際に文字を作成しよう!

例:『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(4) 外字の登録



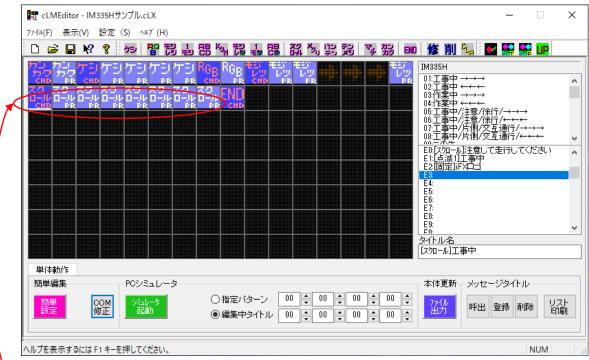
- ② 作成した外字が登録されていることを確認します。
- ③『OK』ボタンを押します。

5-4. メッセージ作成例4 〈スクロール〉〈登録済外字〉【その8】

●実際に文字を作成しよう!

例:『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(5) スクロール方向の変更



① マウスの左ボタンで「<mark>スクロールCMD</mark>」の字の場所をクリックし、 カーソル(白線)を移動させます。

②『COM修正』ボタンを押します。

パラメータ設定 文字登録 ダイアログが起動します。



5-4. メッセージ作成例4 〈スクロール〉〈登録済外字〉【その9】

●実際に文字を作成しよう!

例:『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(5) スクロール方向の変更



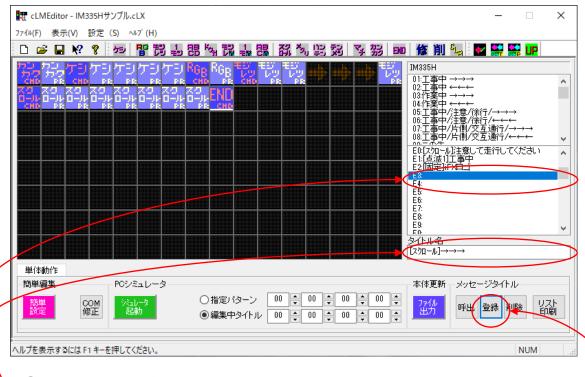
- ③『スクロール方向』を[→]に変更します。
- ④『ロールしながら』に チェックを入れます。
- ⑤『OK』ボタンを押します。

5-4. メッセージ作成例4 〈スクロール〉〈登録済外字〉【その10】

●実際に文字を作成しよう!

例:『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(6) メッセージの登録



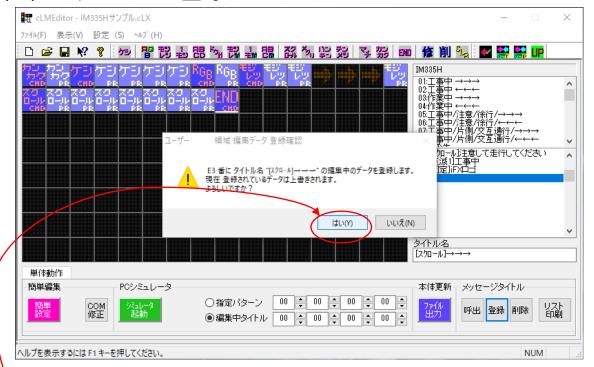
- ① 登録するデータのタイトル名を入力します。
- ② 空いている番号(ここではE3)を選択します。
- ③『登録』ボタンをおしてデータを登録します。

5-4. メッセージ作成例4 〈スクロール〉〈登録済外字〉【その11】

●実際に文字を作成しよう!

例:『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(6) メッセージの登録



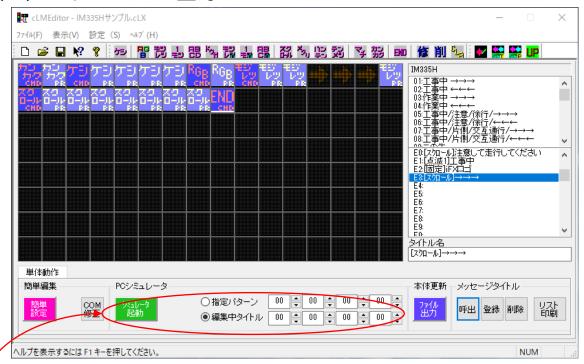
- ④ 作成したメッセージを指定領域に登録します。『はい(Y)』を押してください。
 - ※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります (UO,EO,130等)

5-4. メッセージ作成例4 〈スクロール〉〈登録済外字〉【その12】

●実際に文字を作成しよう!

例:『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(6) メッセージの登録



- ② E3番に「[スクロール]→→→」が登録されました。
 - ※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります (UO, EO, 130等)
- ③『シュミレータ起動』で、作成したメッセージがどのように表示されるか確認できます。

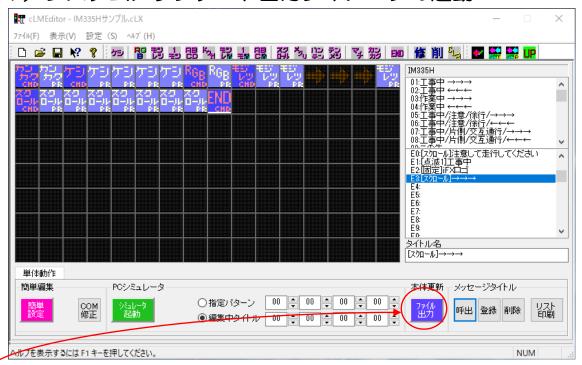


※他の文章も追加する場合は、5-4.メッセージ作成例4の【その1】~【その12】を繰り返してください。

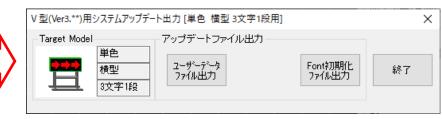
6. LED標示機本体更新ファイルの出力 【その1】

●作成したメッセージデータによる本体更新用ファイルをUSBメモリに出力します。 このUSBメモリをLED標示機本体に接続して電源を入れることにより本体のデータを更新します。

(1)システムアップデート出力ダイアログの起動



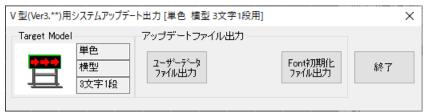
- ① USBメモリをPCに接続しておきます。
- ② 『ファイル出力』ボタンを押します。



6. LED標示機本体更新ファイルの出力 【その2】

●作成したメッセージデータによる本体更新用ファイルをUSBメモリに出力します。 このUSBメモリをLED標示機本体に接続して電源を入れることにより本体のデータを更新します。

(2) 更新ファイルの出力

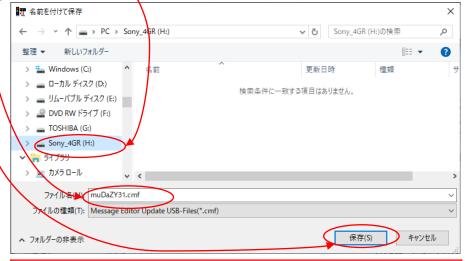


※ 更新するデータにより、ボタンを選択してください。

- ① 『ユーザーデータファイル出力』ボタンを押します。
- ② PCに接続した[USBメモリ]を選択します。
- ③ PCの指定する<u>ファイル名を変更せずに</u>保存』します。



- ④『OK』を押します。
- ⑤ USBメモリをPCから外します。

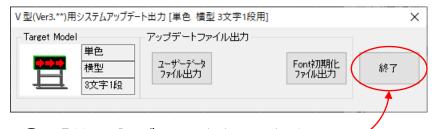


※ファイル名は絶対に変更しないでください。 ファイル名を変更すると本体の更新ができません。

6. LED標示機本体更新ファイルの出力 【その3】

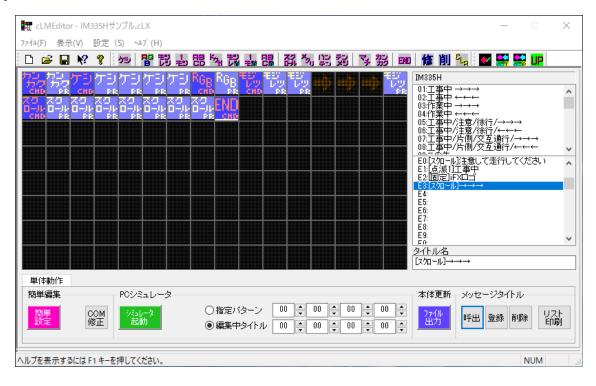
●作成したメッセージデータによる本体更新用ファイルをUSBメモリに出力します。 このUSBメモリをLED標示機本体に接続して電源を入れることにより本体のデータを更新します。

(3)システムアップデート出力ダイアログの終了



① 『終了』ボタンを押します。





7. LED標示機本体への書き込み

- ●本体更新用ファイルが保存されたUSBメモリを使ってLED標示機本体への書き込みを行います。
- ※ この作業は、LED標示機本体のバッテリーが十分に充電されている状態で行ってください。
 - ① LED標示機の電源を切ります。
 - ② LED標示機の背面の『USB入力コネクタ』パネルのネジ4本を 外します。 【パネルの位置は機種により異なります】
 - ③ パネルを外した箇所にあるUSB端子に、データ転送した USBメモリを接続します。
 - ④ LED標示機の電源を入れます。
 - ※ USBメモリを接続した状態で電源を投入すると 自動的に書き込みが開始されます。
 - ⑤書き込み表示を確認します。



※ 書込み中は、絶対に電源を落とさないで下さい。

(書き込み終了まで約1~3分程度かかります)



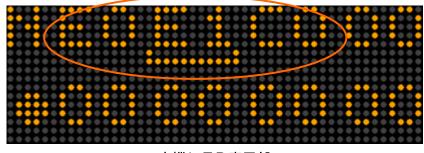
- ※書き込み中は、LED標示機のLED表示部の最端1列から 点滅(カラー機種は点灯)し、順次点灯する列が増えていきます。 点滅(カラー機種は点灯)が始まらない場合は、 USBメモリにデータを転送し直し、①からやり直して下さい。
- ⑥ 書き込みが終了すると、LED標示機が再起動し、設定済みのパターン番号の表示が開始されます。





8. LED標示機本体での表示設定

- ●作成したメッセージデータをLED標示機本体で表示します。
- ※ 詳細はLED標示機本体の取扱説明書をご覧ください。
 - ① LED標示機本体 の『カーソル移動』『10桁』『1桁』ボタンを使って表示するメッセージの登録番号を設定します。



本機LED表示部

- ② 表示を確認します。

本機LED表示部

※ 転送したデータは、LED標示機本体の電源を切っても消えません。

- ※ [C]と[O]等、文字の違いに注意してください。
- ※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります。(UO, EO, 130等)
- ※ 左の例では、EO, E1, CO を指定しています。

御不明点など御座いましたらご連絡下さい

長野県安曇野市豊科2571番11 TEL 0263-88-2110 URL https://www.inform-ex.co.jp/

株式会社 インフォメックス松本